

12月議会にむけて準備中！

10月から7人になった市議団の議会活動がスタートしました。切実な市民の皆さんの願いを実現していくために様々な取り組みをしています。その一端をご紹介します、12月議会に向けた準備を報告します。

また、フレッシュな3人の新人議員の皆さんのコメントも掲載しました。



南部図書館の調査

10月26日 篠ノ井支所・南部図書館・松代などの現地調査を行いました。支所、篠ノ井市民会館の早急な建て替えは、公共施設削減ありきで検討するのではなく、住民の皆さんと検討を十分に行い、必要な施設を確保すべきと要望しました。また老朽化している南部図書館の建て替えを早急に行うよう求めました。

10月27日 和田・山口両県議を招き、国保の広域化、皐月保育園移転問題、福祉医療の窓口無料化などの問題で情報交換を行いました。

10月30日 長野県主催の浅川ダム・千曲川の現地見学会に参加しました。

11月14日 中山間地域の支部の皆さんと懇談会。



浅川ダムの現地視察

中山間地に暮らす皆さんとの懇談会では、たくさんの課題が出されました。

- ・少子化にともなう小中学校の統廃合や小中一貫校の問題。
 - ・介護保険の大改正による要支援の受け皿となる総合事業にむけて長野市が各住民自治協議会に配置しようとしている地域福祉ワーカーの問題。
 - ・有害鳥獣対策強化。
 - ・公共交通の存続。
 - ・公民館の指定管理者導入や有料化の問題。
 - ・若者定住対策、移住者支援。
 - ・子どもたちも農業体験と地域交流。
 - ・除草、除雪、溝浚いなどの地域集落の維持の課題。
- などなど、様々な地域課題が出されました。



中山間地域の党支部の皆さんとの懇談会

住民自治協議会に積極的に参加しながら、営農モデルを示し、若者の移住定住に役立てたいと新たに自家米だけでなく販米に挑戦する方の取り組みも報告されました。この方は「仲間6人と炭焼きもしているが、10トンの材木からできる炭は1トン、値段は20万円。大変な苦労をしてもこれでは食べていられない。林業の再建の難しさを実感している」とのこと。

「様々な取り組みを積極的に行っている人たちの中には、なかなか政治と向き合うことができない人も多い。なぜ苦勞しているのか、根本的なことも積極的に発言していくことも大事」などの意見もいただきました。

また、参加していただいた中には車のない方もいて、10時の会議に出てくるのに、朝7時に家を出たとのこと。「バスは、平日は2時間に1本。土日、休日は3時間に1本。隣村にあったタクシー会社は、人を増やせないまま、村の仕事を請け負い、電話しても断られることも多くなり、ますます外出が困難になった」、「高齢者の運転免許の問題が取りざたされているけれど、免許がなくなれば生活できない。長野市の福祉タクシーは病院に行くついでに投票所に寄ってもらおうとしたら、別料金と言われてしまった。かつて11カ所あった投票所は今4カ所まで減らされている。ほんとに冷たい」、「普段は寂しい村だが、運動会や文化祭では300人以上集まり、豊かな芸能、文化財もある」・・・などなど、2時間半の懇談会はあっという間でした。

4年前にも同様の懇談会をひらき、対市交渉もおこなって、一定の前進を勝ち取りました。今回も懇談で終わりにせず、取り組みを発展させたいと思います。

(裏面に新人3議員からのメッセージ)

フレッシュ3人組からのメッセージ



黒沢 清一 議員

10月の臨時議会を皮切りに議会活動が始まりました。私は、初めての議会でもあり緊張しながらも新鮮な毎日でした。

現場の教職員のみなさんからは、選挙中も選挙後も現場の大変さと改善の切実な要望が直接訴えられました。特にやってもやっても終わらない仕事の中で、早朝から夜遅くまで働かざるを得ず、体調をくずす先生方もたくさんいます。今、学校は教職員のみなさんの熱意によって支えられていると言っても過言ではありません。

こうした中、会派総会の中で、加藤市長は「いじめ・不登校、長野県は全国でも多い。この足を引っ張っているのは長野市だ」と述べました。市長がこういう認識ではなく、教職員や父母・子どもを励ます施策こそ求められていると思います。

学校現場へ、一人でも多くの教職員の加配を求めていきたいと思います。

選挙中、私も「戦争法案推進の市議会ではなく、平和の願いが届く市議会に」と訴えてきました。選挙後、「戦争法案廃止」の署名を街頭や訪問しながら訴えています。「戦争だけはだめだ」「この間、若いみなさんが戦争法廃止を訴え続けていて、心強い」などの声が返ってきます。戦争法廃止のために引き続きがんばります。

鳥獣被害対策、市正規職員の増員、学校図書館に専任の職員の配置、支所機能の充実などの要求実現のためにがんばります。



滝沢 真一 議員

皆さんの大きなご支援で原田前市議から議席を引き継がせていただくことができました。今後は皆さんの思いを直接市政に届け、市民こそが主人公のあたたかい社会を実現するため、全力を尽くします。

いよいよ10月から議員としての生活が始まりました。常任委員会では、総務委員会に所属することになりました。ここは多くの皆さんから寄せられた戦争法案の廃案を求める請願を否決し、反対に推進の請願を強行した場所でもあります。特別委員会は、公共施設の在り方調査研究特別委員会に決まりました。いま、長野市では公共施設マネジメント指針に沿って「20%の削減目標」ありきで公共施設の削減計画が進められようとしています。その1つが北部市民プールです。子どもたちをはじめ、近隣の保育園や養護学校の生徒たちが使っているプールを、市の勝手な都合で住民の声を聴かずに無くしてしまう、こんな計画を許すわけにはいきません。

私自身、まだまだ勉強不足なところもありますが、先輩議員の皆さんからもしっかり学び、皆さんの声を届けるため元気いっぱい頑張ります。



生出 光 議員

9月の選挙から早2ヶ月がたちました。ご支援頂きましたみなさんに、心より感謝申し上げます。告示の10日前の出馬要請でしたので驚きましたが、「無風選挙を許さない」という党の本気の構えに感動すら覚えました。それだけに留まらず7人全員が当選したことは、他でもない「憲法まもれ」「戦争法本当に止める」という思いが託されたものと感じています。この負託に応えられるよう、精一杯がんばります。

さて、10月からスタートした議会活動ですが、初めてのことばかりで新鮮に感じています。他党派の議員とも話すのは初めて。さぞひどい仕打ちを受けるかと思いきや、意外と普通に話しかけてくれます。議員もひとりの人間なのですね。いっぽう市政の問題は山積みです。主には国の悪政が市民生活を苦しめているのですが、具体的にどんな方法で防波堤になれるのかを研究していきたいと思います。